



# NBK

CORPORATE PROFILE



南洋貿易株式会社

南洋貿易は、明治の創業期より、食品の輸出に特化していました。

現在では、時代を経てグローバルなディストリビューター（車輛、機械、発電機等）として、またプロジェクトのオーガナイザーとしての機能を加え、幅広く現場に根差した活動も行っております。太平洋諸国からアジア、カリブ、アフリカ等全世界へ市場を広げ成長し続けます。

## FOOD AND COMMODITY

### 生活商品

100年以上にわたり日本の食料品を海外に輸出して参りました。歴史的にも南洋貿易の中核をなす業務を行っております。取扱い品目は、食料品、機械、電機設備と幅広く、多くの大手メーカー様の太平洋諸国における輸出販売代理店として、サービス及び販売の質と量を高めています。



## AUTOMOBILE



### 車輛機械

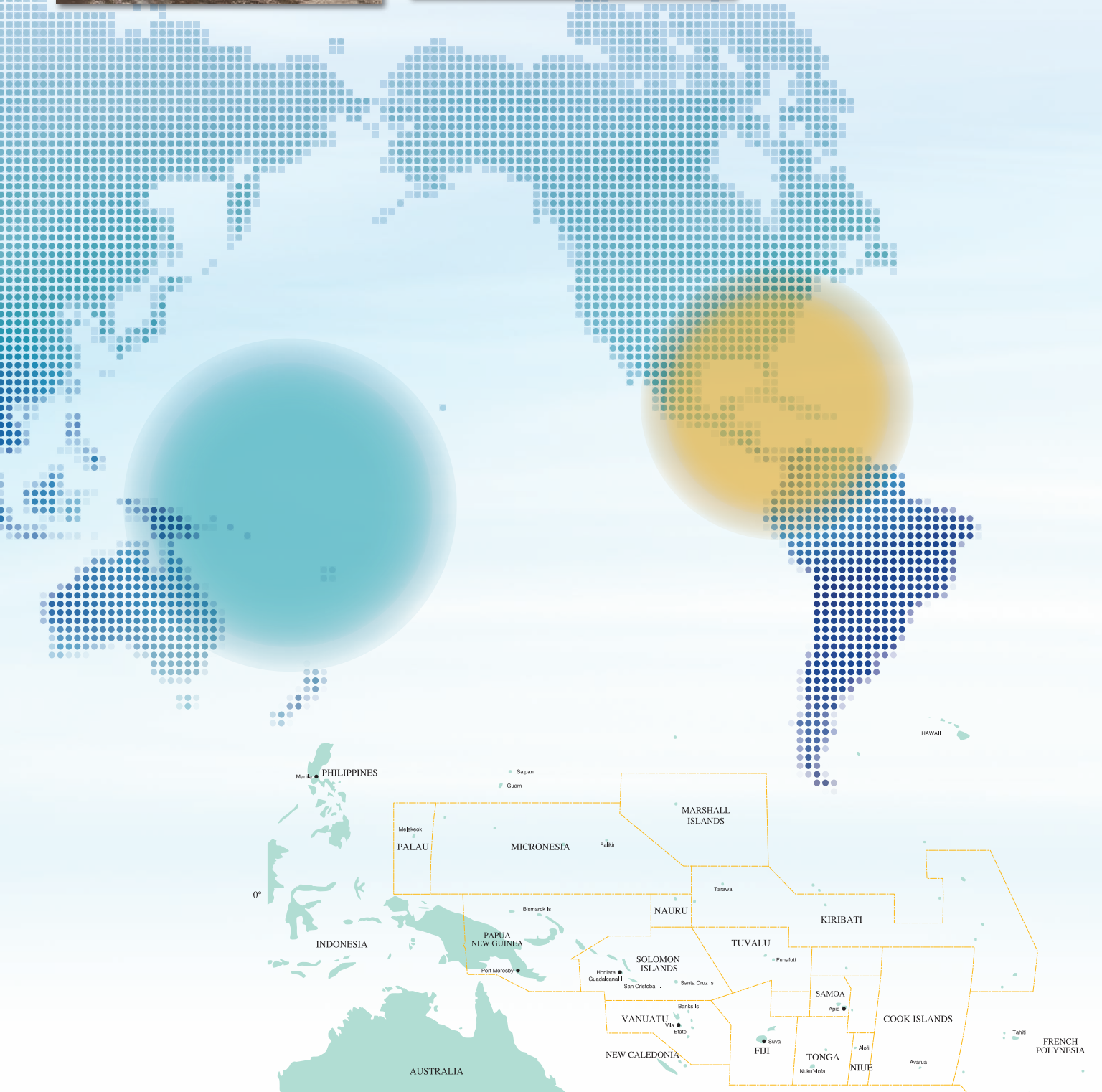
日本自動車メーカーの正規輸出代理店として約50年前に業務を開始致しました。自動車の販売によって、太平洋諸国のインフラの一部となること、また自動車メーカーのブランド価値を高めることを目指します。現在は、太平洋諸国のみならずアジアにもマーケットを広げております。

## GLOBAL PROJECT



### グローバルプロジェクト

日本政府発信のODAプロジェクト(政府開発援助)や国際機関からの資金援助を活用したプロジェクトの案件形成から実施、完了までを一貫して行っております。また、現地政府や顧客の要望に合わせた資材、機材供給等も担っており、世界各国の社会、経済の発展に寄与しております。



会社名	南洋貿易株式会社
創業	明治26(1893)年10月1日
設立	昭和25(1950)年12月15日
資本金	5,000万円
本社所在地	〒102-0083 東京都千代田区麹町1-8-7 エミナビル4階 TEL. 03-6256-8141(代表) / FAX. 03-6256-8142
従業員数	25名(2019年1月現在)
業務内容	貿易業 コンサルティング業 ODAプロジェクト(政府開発援助)関連業



## HISTORY 沿革

- 明治23(1890)年 **始動** 天祐丸が南洋諸島へ向けて出帆。
- 明治26(1893)年 **創業** 和歌山県にて前身となる組合事業を開始。
- 明治27(1894)年 ● 南洋貿易日置合資会社を設立。
- 明治41(1908)年 ● 南洋貿易株式会社に改組し、南洋群島各所に支店を開設。
- 昭和17(1942)年 ● 国策会社、南洋興発株式会社と合併。  
太平洋諸国において、各種事業を定着させ、地域特色のある総合事業会社に発展。
- 昭和20(1945)年 ● 南洋興発株式会社は、大東亜戦争の終結、在日占領軍総司令部の指令により、閉鎖機関の指定を受けて解散。
- 昭和21(1946)年 **再開** 栗林徳一の出資により、栗林商会の東京支店貿易部として発足。
- 昭和25(1950)年 ● 栗林徳一を会長、栗林徳光を社長とし栗林商会より分立。
- 昭和38(1963)年 ● 本邦商社として、初めて太平洋信託統治領(南洋諸島)の旅行許可を取得。
- 昭和52(1977)年 ● 大洋州に対する日本政府の無償援助プロジェクトの積極的な協力を開始。
- 昭和58(1983)年 ● 天皇陛下より栗林徳五郎(当時会長)が初代キリバス共和国名誉総領事を拝命。
- 平成元(1989)年 ● 英国エリザベス女王承認のもと栗林徳五郎(当時会長)が初代ツバル国名誉総領事を拝命。
- 平成2(1990)年 ● シンガポール、タイ、韓国を中心とするアジアとの三国間貿易の発展に寄与。
- 平成6(1994)年 ● 栗林徳五郎(当時会長)が英国より大英帝国勲章(Order of the British Empire)を叙勲。
- 平成6(1994)年 ● 米国からのサプライ拡充の為、米国現地法人NANYO BOEKI DISTRIBUTION OF U.S.A. INC.を設立。
- 平成19(2007)年 ● スリランカ及びネパールへの輸出開始。
- 平成27(2015)年 ● 水産関連案件を落札し、カリブ海地域へ市場を拡大。
- 平成28(2016)年 ● 栗林和徳(現代表取締役会長)が在室蘭パプアニューギニア名誉領事を拝命。
- 平成29(2017)年 ● 太陽光案件を落札し、アフリカ地域へ市場を拡大。



試作農場係員



南洋貿易(株)の再開に尽力した栗林徳一



昭和38年当時のスーパーの様子



大英帝国勲章を叙勲した栗林徳五郎



在室蘭PNG名誉領事を拝命した栗林和徳



南進一路是  
創業之精神也

京州書